

第4回 7月10日（金）～7月11日（土）

今回の一流塾は都会の喧騒を離れ、伊豆高原の「伊豆ワイナリーヒルズ」に場所を移し合宿研修を行い、講師に渡邊五郎氏（森ビル(株)特別顧問、元三井物産(株)副社長）、特別ゲストに藤末健三代議員をお迎えしました。

渡邊氏は、『グローバルな世界で学んだ“リーダーシップ論”』と題し、リーダーの条件として、先見性（取捨選択の決断と実行力）、エレガントカリスマ（品位のあるカリスマ性）、修羅場・土壇場、正念場の経験、公正さと非情さ、強い信念、エンパワーメント能力とカデンツァ（独自性）が必要であると説きました。また、リーダーには、ノブリスオブリジェ（高貴な地位の者に課せられる倫理的な責任・義務）があり、「和魂」（揺るがせにしてはならぬ日本人の魂の基軸＝絶対的価値）と「洋才」（グローバルな視点から絶え間なく変化する時代の中でベストプラクティスを提示し続ける＝相対的価値）を追求しながら、エレガントソリューション（高度な落としどころ＝単なる妥協ではなく寛容・寛恕の気持ちを持って絶えず落としどころを見出していく）を志向することが肝要であると述べ、塾生からは「人生論、リーダーシップ論として大変勉強になった」という声が多くあげられました。

また、一柳塾長から『ベンチャー政治家 田中角榮論』と題した講演が行われ、田中角榮先生の言葉の分析から得られた教訓として、夢と情熱を持つ、的確な客観情報の把握する、時代の変化の潮流を読む、世の中のニーズを把握し関係者を動機づける、自分の事業を大きなシステム全体の中に明確に位置付ける、といったベンチャー的要素は企業経営に通じるものがあると、角榮先生の秘書時代の思い出を交えながら説きました。また、田中角榮流「人脈作り 10カ条」についての紹介があり、塾生からは「田中角榮先生の魅力を垣間見ることができた」、「コミュニケーション力の必要性を再確認した」といったコメントがありました。

懇親会には特別ゲストとして民主党参議院議員の藤末健三代議員をお招きし、『政権をとったら、何をどう変えるか？～民主党として、藤末個人として～』と題し、政権奪取に向けての藤末議員の熱い思いを述べられました。衆議院の解散・総選挙も間近と注目される中、タイムリーな話題に塾生からも活発な質問が行われ、一同大いに盛り上がりました。

懇親会後に開催された恒例の放談懇親会では、渡邊氏、藤末氏も参加し、新たな試みとして塾生によるユーモアに富んだスピーチの発表が行われ、ワインを堪能しながら袴を脱いで和気諸々のうちにも、塾生の仲間意識を深めました。

翌朝は、ワイナリーの見学を行い、シダックス(株)の志太勤会長のご挨拶を頂きました。今回の合宿会場である「伊豆ワイナリーヒルズ」は志太会長が、「文化の一端を担う世界に通じるワイン」を目指して設立されたワイナリーで、シャトーからの葡萄畑の眺望に塾生からも「ナパ・バレー（カリフォルニアの高級ワインの産地）のワイナリーのように」と大変好評でした。